

EOS-1D^X

Mark II

※MacintoshおよびMac OS、米国およびその他の国で登録されているApple Inc.の商標です。※MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。※Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ)の他の国で登録されている「Adobe」,「CompactFlash」(コンパクトフラッシュ)は、SanDisk Corporationの商標です。※キヤノンは、株式会社「Canon」/地域で登録されている「eFcast 2.0」/国別の公認リタイザーです。※その他記載された、製品名等とは、一般に、各社の登録商標または商標です。※ここに記載のデータはすべて当社試験結果、またはCIPA試験結果を基に発表しております。大きさ、最大値、質量はCIPAガイドラインに基づいて (カメラ本体のみを指します)。※都合により製品の仕様および外観の一部を予告なく変更することがあります。※仕様が2017年9月現在のもので、オプション・付属品の価格等は販売により順次1円/台とさせていただきます。※カメラ・露出部は精密度の高い技術でつくられています。画素数や常時露出する画素が異なる場合があります。これは故障ではありませんのでご了承ください。また、この点は保証には記載されません。※EOS-1D Mark IIの無償修理保証期間は、お買い上げの日からです。※アクセサリー・周辺機器は、製造日より1年以内です。なお、一部機種には、弊社の写真用ソフトウェアと同一機能または同程度の仕様の製品を本体や付属品と実装していた場合があります。その場合、旧機種で使用する消耗品や付属品を使用しないだけでよいこと、対応OSが変更になることがあります。

〒108-8011 東京都港区港南2-16-6 CANON S TOWER	1017T020	00524654
---------------------------------------	----------	----------

歴史が変わる瞬間を逃さない。

世界記録、大会記録。人類の限界が更新される瞬間を
いつも最前線で見つめてきたのが、プロフォトグラファーとキャノンの「1」だった。
描写力、高速性、信頼性、そして操作性。
すべてにおいて最も優れた機材だけが選ばれ、踏み込むことを許される舞台で、
新しい「1」も彼らの眼となり、歴史が変わる瞬間を世界へ伝える。

EOS-1D X Mark II、誕生。



EOS-1D X Mark II

EOS-1D X Mark II: オープン価格 商品コード: 0931C001 / JANコード: 4549292-060485
EF50mm F1.2L USM: 185,000円 (ケース・フード付き、税別) 商品コード: 1257B001 / JANコード: 4960999-354972
EF400mm F2.8L IS II USM: 1,250,000円 (ケース・フード付き、税別) 商品コード: 4412B001 / JANコード: 4960999-664859
※オープン価格商品の価格は販売店にお問い合わせください。
※価格には消費税が含まれておりませんので、ご購入の際、消費税額をお支払いください。

太陽光、人工照明。その高画質は、光の条件を選ばない。

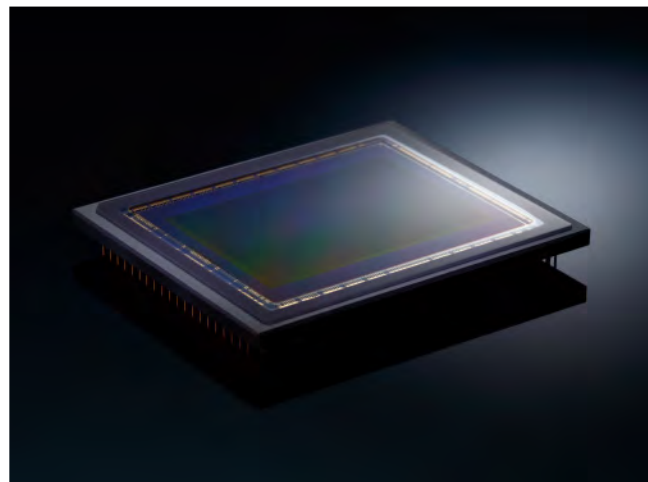


20.2M高画質

先進技術の結晶、新開発35mmフルサイズCMOSセンサー。

高画質と高速性能の極致を目指して自社開発・生産した、有効約2020万画素、約35.9×23.9mmフルサイズCMOSセンサーを搭載しました。最新の半導体プロセスを導入することにより、高画素化と高S/N比を高度に両立。解像感に優れ、かつ高感度画質やレタッチ耐性の向上も実現しています。また広ダイナミックレンジにより、繊細な陰影を忠実に描写することが可能です。さらに読み出し速度も高速化。約16コマ/秒の高速連続撮影*、59.94fpsの4K動画、119.9fpsのフルHDハイフレームレート動画撮影などを実現しています。

※ライブビュー撮影時。ファインダー撮影時は最高約14コマ/秒です。



全感度域で色ノイズ処理能力が向上。拡張ISO感度H3:409600。

EOS-1D X Mark IIが目指したのは、プロにとっての実用感度域における高画質化です。常用感度はISO 100～51200*。新CMOSセンサーが出力するS/N比の高い信号とデュアルDIGIC 6+の強力なノイズ処理により、高感度でも良好な描写を実現します。画質への要求から制限してきたISO制御範囲を広げ、より自由な露出設定が可能です。拡張ISO感度はH1:102400、H2:204800相当に加え、新たにH3:409600相当を用意。低感度側はL:50相当が設定できます。

※推奨露光指数



ISO 100

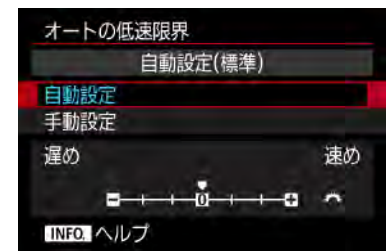
ISO 51200

設定の柔軟性を高めた「ISOオートの低速限界」。

P、AvモードでのISOオート設定時、シャッター速度が自動的に遅くなりすぎないようにシャッター速度の低速限界（下限速度）を設定できます。これまで広角レンズ使用時の被写体ブレ対策に有効だったこの機能を、望遠レンズ使用時の手ブレ対策や多様な撮影スタイルに対応できるよう拡張。柔軟かつ意図に合ったISO感度の自動制御を実現しています。

●さまざまな表現意図に対応する「自動設定」。

レンズの焦点距離に応じて制御を行う、新しい設定項目です。[遅め/標準/速め]を7段階で設定。[速め]に設定すれば、超望遠レンズの手ブレ対策、広角レンズの被写体ブレ防止の、いずれにも効果を発揮します。また「遅め」では、ブレを利用したダイナミックな表現や、三脚を使用した手ブレ対策などにも対応できます。



●設定範囲を拡大した「手動設定」。

高速側の設定可能範囲を1/8000秒まで拡張。望遠レンズ使用時、これまで手ブレに配慮してTvモードに切り換えていたシーンもP、Avモードのまま対応でき、撮影の機動性が大きく向上します。

画質と機動性を高度に両立させた、デュアルDIGIC 6+。

新開発の映像エンジンDIGIC 6+を2基、搭載。最新のノイズ低減処理アルゴリズムを採用して高感度画質を磨き上げると同時に、JPEG設定時における回折補正、カメラ内デジタルレンズオプティマイザ、高フレームレートの4K/フルHD動画撮影などを実現しています。さらに、CMOSセンサーの高速読み出しに対応するフロントエンドICも新規に開発。2基のDIGIC 6+とセットで信号を並列処理することにより、約16コマ/秒の高速連続撮影*を可能としました。

※ライブビュー撮影時。



シーン解析力の進化により、画作りの信頼性がさらに向上。

色・形を見分ける約36万画素RGB+IR測光センサーと、シーン解析専用のDIGIC 6を搭載。分解能の向上により顔検知精度を向上させました。また、近赤外光を含む波長領域の検知により、夕景や朝焼け、自然風景の緑を判断する能力が大幅にアップ。被写体に合わせ各種の画像処理機能を最適制御する、高度な画作りを実現しています。

※ファインダー撮影時に有効です。

多彩な画像用途に対応する、3種のRAWと4種のJPEG。

RAW画質は3種類（RAW/M-Raw/S-Raw）。JPEGは4種類を用意しており、さらに圧縮率を10段階で設定することが可能です。RAWとJPEGはどの画質でも自由に組み合わせて同時記録でき、さまざまな画像の用途とワークフローに対応できます。また、瞬時に異なる記録画質で撮影できる「ワンタッチ記録画質切り換え」も搭載しています。

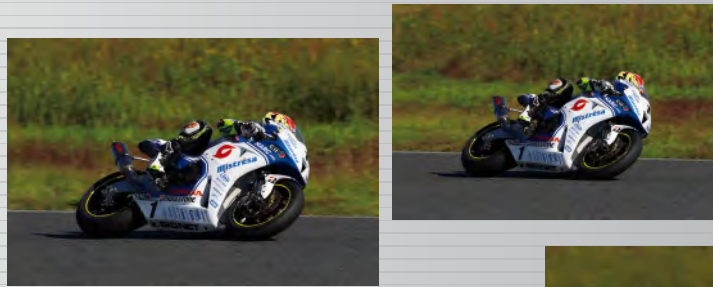
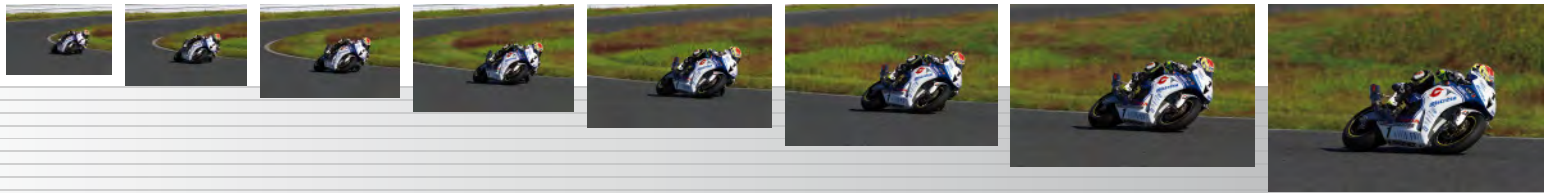
記録画質	記録画質記録画素数[約]	ファイルサイズ[約・MB]	撮影可能枚数[約・枚]
L	2000万(5472×3648)	6.2	1160
M1	1270万(4368×2912)	4.3	1650
M2	890万(3648×2432)	3.4	2120
S	500万(2736×1824)	2.2	3180
RAW	2000万(5472×3648)	23.2	300
M-Raw	1120万(4104×2736)	18.5	370
S-Raw	500万(2736×1824)	12.7	530
RAW+L	—	23.2+6.2	230
M-Raw+L	—	18.5+6.2	280
S-Raw+L	—	12.7+6.2	360

*記録画素数は、1万の位を四捨五入した値です。

*撮影可能枚数は、キヤノン試験基準8GBカード使用時の枚数です。

*ファイルサイズ、撮影可能枚数、連続撮影可能枚数は、撮影条件(被写体、メモリーカードの銘柄、ISO感度、ピクチャースタイルなど)により変動します。

フォトグラファーは、「この2コマで、撮影限界は格段に 上がる」と驚嘆した。



EOS-1D X $12+2=14$ frames/sec.
EOS-1D X Mark II

14fps／16fps高速ドライブ

AF／AE追従で約14コマ／秒を達成した、高速連続撮影。

狙った瞬間を、意図した構図と適切なピントで確実に切り取る。極限に挑むプロのため、EOS-1D X Mark IIはファインダー撮影時、最高約14コマ／秒^{*}の高速連続撮影を実現しました。AF／AE追従による高精度なAIサーボAFが行え、決定的瞬間を鮮やかに記録できます。

^{*}H1 (ISO 102400相当)以上(カメラ内部が低温状態のときはISO 32000以上)のときは、高速連続撮影時の連続撮影速度が、ファインダー撮影時：最高約10.0コマ／秒、ライブビュー撮影時：最高約14.0コマ／秒となります(バッテリーバック LP-E19使用時)。

^{*}高速連続撮影時の連続撮影速度は、電源の種類、電池残量、温度、ISO感度、フリッカーレス撮影、シャッター速度、絞り数値、被写体条件、明るさ、レンズの種類、ストロボ使用、撮影機能の設定などの条件により低下することがあります。

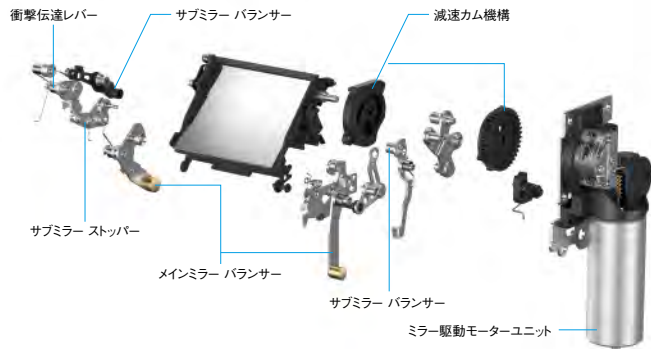
RAWに対応。最高約16コマ／秒のライブビュー高速連続撮影。

ライブビュー撮影時は、最高約16コマ／秒^{*}という驚異的な高速ドライブが可能です(AF／AEは1コマ目固定)。これまで不可能だったRAW記録にも対応。さらに、最高約16fpsのクイックビュー表示も実現しました。液晶モニターがブラックアウトせず、構図を確認しながら連続撮影を続けられます。

^{*}撮影条件によって、ファインダー撮影時と同様の制限が生じることがあります。

高速・高精度なAF／AEを支える、ミラー振動制御システム。

最高約14コマ／秒の高速連続撮影に対応するため、ミラーチャージとシャッターチャージを独立したモーターで行う2モーターシステムを採用。さらにメイン／サブミラーのパウンドを瞬時に吸収し、確実に静止させるべく、新開発のミラー振動抑制システムを搭載しました。これにより高精度なAF／AEと安定したファインダー像を実現しています。



【衝突エネルギーの低減】

ミラーをモーターで駆動。ミラーアップ／ダウンの終端直前でモーターを減速制御します。さらに、ミラーダウン時は減速カムも併用してブレーキをかけ、衝突エネルギーを大幅に低減。従来のバネ方式に対しミラーショックが小さく、瞬時にパウンドを静止させます。

【衝突エネルギーの吸収】

メイン／サブミラーの左右にパウンド防止機構(バランサー機構)を搭載。たわみによる振動を抑えつつ、衝突エネルギーを効果的に逃がします。サブミラーにはストッパー機構も併用。パウンドを押さえこみ確実に静止させ、安定した光束をAFユニットに導きます。

●被写体への集中力を高める、音と振動に配慮したメカ設計。

作動音を低減するため、ミラー駆動モーターとシャッターチャージモーターを弾性部材で浮遊支持。これによりモーターの回転に伴う不快な振動も手に伝わりにくくなり、撮影がより快適です。また、ファインダー像の見え方にも配慮し、メインミラーの動きが視野に及ぼす影響を解析。シミュレーションに基づきミラー駆動用のカム形状を最適化し、違和感の少ない視野を実現しました。



CFast 2.0カード／CFカード対応のデュアルスロット。

最高約16コマ／秒の高速連続撮影やDCI 4K／59.94fpsを実現するため、CFカードよりもはるかに高速の書き込みが可能なCFast 2.0カード^{*1}に対応。CFカード^{*2} (UDMAモード 7)とのデュアルスロットを搭載しました。フォーマットは新たにexFATをサポート。1ファイル4GBの制限がなくなり、大量の画像を最小のファイル数で管理したい場合や動画記録などに有効です。なお、128GBまでのCFカードはFAT32でフォーマットされます。

^{*}1 キヤノンは、さまざまな国／地域で登録されているCFast 2.0™ 商標の公認ライセンスです。^{*}2 Type II非対応です。



画像管理を効率化する記録機能／カード間コピー。

記録機能は「標準」のほか、大容量記録が可能な「カード自動切換え」、記録サイズごとに画像を管理できる「振り分け」、撮影と同時にバックアップを確保できる「同一書き込み」から選択が可能です。また、カード間の画像コピー^{*}が行え、画像管理とバックアップを効率化できます。

^{*}exFATの場合、4GBを超える動画ファイルもコピーが可能です。

JPEG:カードフル、RAW:約170枚まで連続撮影を継続可能。

次々と訪れるシャッターチャンスを逃さない。EOS-1D X Mark IIは、約14コマ／秒の高速連続撮影時でも、JPEGならカード容量の限界まで連続撮影を継続できます。また、RAW記録時もCFカード(UDMAモード7)で約73枚、CFast 2.0カードで約170枚の連続撮影可能枚数を確保。これまで以上に高速連続撮影を繰り返すことが可能です。

記録画質	連続撮影可能枚数【約・枚】		
	CF カード		CFast カード
	標準	UDMA 7	
L	140	1160 (Full)	1160 (Full)
M1	190	1650 (Full)	1650 (Full)
M2	250	2120 (Full)	2120 (Full)
S	740	3180 (Full)	3180 (Full)
RAW	59	73	170
M-RAW	72	94	330
S-RAW	100	170	530 (Full)
RAW+L	48	54	81
M-RAW+L	53	65	100
S-RAW+L	54	70	130

^{*}連続撮影可能枚数は、当社試験基準CFカード、CFast2.0対応カードを使用し、当社試験基準(約14コマ／秒連続撮影連続撮影、JPEG 画質:8、ISO 100、ピクチャースタイル:スタンダード)で測定したものです。^{*}ファイルサイズ、撮影可能枚数、連続撮影可能枚数は、撮影条件(被写体、メモリーカードの銘柄、ISO感度、ピクチャースタイルなど)により変動します。^{*}連続撮影可能枚数の「Full」は、カードフル状態まで連続撮影可能を意味します。

撮影音を抑えたいシーンに有効なソフト連続撮影／ソフト動作。

ミラーアップ／ダウンとシャッターチャージを通常撮影時よりも低速で行うことにより、ミラーの衝突音やメカ駆動音をソフトな印象にできます。このときも連続撮影が可能(最高約5コマ／秒)。音に対して配慮が必要なシーンでも、欲しい瞬間を捉える確度を高められます。さらに「1枚:ソフト動作」では、撮影後、シャッターボタンを半押しに戻すまでミラーダウンとシャッターチャージ動作を待機。より撮影音を抑えたい場面で有効です。^{*}ファインダー撮影時に有効なモードです。ライブビュー撮影時は、メニュー[LVソフト撮影]を設定することによりソフト効果が得られます。

ドライブの設定機動性を高める「ドライブモードの限定」

DRIVEボタンを押したときに選択できるドライブモードを、カスタム機能で限定することができます。ダイヤルを回してモードを巡回する際、使用しないモードを経由する煩わしさを解消し、設定機動性が高まります。

機能の大幅な拡充。そのすべてが写真の完成度を 向上させる。

画像処理機能

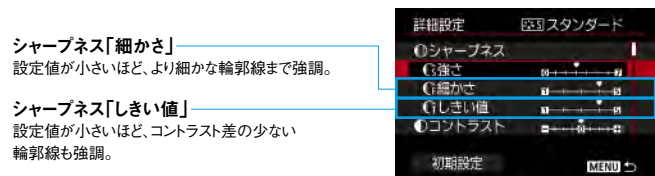
表現意図に合った仕上がりが得られる、ピクチャースタイル。

被写体や好みにあった画作りができるピクチャースタイルを搭載しています。EOS iSA[※] Systemの性能向上に伴い、「オート」設定時、よりシーンに適したパラメーターの自動制御を実現しました。被写体に応じて頻繁にピクチャースタイルを切り換えなくても良好な撮影結果が得られます。

【搭載ピクチャースタイル】オート、スタンダード、ポートレート、風景、ディテール重視、ニュートラル、忠実設定、モノクロ、ユーザー設定1～3
※iSA=Intelligent Subject Analysis

シャープネスの効果を自在に操れる、「細かさ」「しきい値」。

ピクチャースタイルのシャープネス項目に「細かさ」と「しきい値」を新搭載。これまで調整できなかった細部に対しても、輪郭をどのように強調処理するかの設定が可能です。「細かさ」の設定値を小さくするほど、細かな輪郭線にまで強調処理を施せます。また、「しきい値」を小さくするほど、コントラスト差の少ない輪郭線まで強調処理。被写体やプリントサイズなどに応じ、解像感や質感を思い通りに表現できます。



精緻感を生む新ピクチャースタイル、「ディテール重視」。

ディテールを緻密に描写したい場合や、繊細な質感を表現したいときに有効なピクチャースタイル、「ディテール重視」を搭載しています。シャープネスの「細かさ」「しきい値」はそれぞれ最小値の「1」。細部の質感が表現できるよう、階調性を重視しコントラストは「スタンダード」よりも低めです。一方、後処理なしで作品を完成できるよう、彩度は「スタンダード」同等に設定。風景のように解像感がほしい被写体や、個展など大きなプリントサイズを前提とした撮影に適します。

※シャープネス「細かさ」と「しきい値」の設定は、動画撮影には反映されません。



雰囲気か忠実な色再現か。意図に応えるオートホワイトバランス。

白熱電球などの光源下で撮影する際、オートホワイトバランスの特性を選択可能としました。「オート（雰囲気優先）」^{※1}に設定すると、光源の赤みを残した、暖かみのある表現に。新設の「オート（ホワイト優先）」に設定すると赤みを抑え、白は白く描写^{※2}。ホワイトバランスモードを切り換えなくても、忠実な色再現性が得られます。

※1従来のEOSのオートホワイトバランスと同特性です。
※2光源の種類によっては意図した効果が得られない場合があります。

良好な描写を安定して生むオートライティングオブティマイザ。

画面内の輝度分布を解析し、被写体を自然な明るさとコントラストに補正。逆光などで被写体が暗くなってしまうときでも、被写体と背景の明るさのバランスを整え、見た目に近い画像を記録できます。また、低コントラストのシーンや反射率の高い被写体を撮影時も、より良好な描写を得ることが可能です。約36万画素RGB+IR測光センサー／シーン解析専用DIGIC 6の搭載により、EOS-1D Xと比べて顔検知能力やタ景認識能力がさらに向上。多様なシーンに対して有効に機能するよう、オートライティングオブティマイザ制御を高精度化させています。

※オートライティングオブティマイザはファインダー撮影時に有効です。

光学補正機能

歪曲収差・回折補正を加え、進化した光学補正機能。

DIGIC 6+の優れた処理能力により、JPEG撮影時、これまでの色収差（倍率／軸上）と周辺光量の補正に加え、歪曲収差補正と回折補正も実現しました。パンフォーカス撮影など深い被写界深度がほしいとき、回折を気にせず大胆に絞り込むことが可能です。また、回折補正は、ローパスフィルターなどの影響にも補正効果を発揮。大口径レンズを使い、開放絞り付近で撮影しても、いっそう鮮鋭感の高い画像を得られます。なお、これらのレンズ光学補正機能は最高約16コマ／秒の高速連続撮影時[※]にも使用でき、常時ONでも機動性に影響はありません。

※ライブビュー撮影時。

●レンズ光学補正データを内蔵。追加登録が不要。

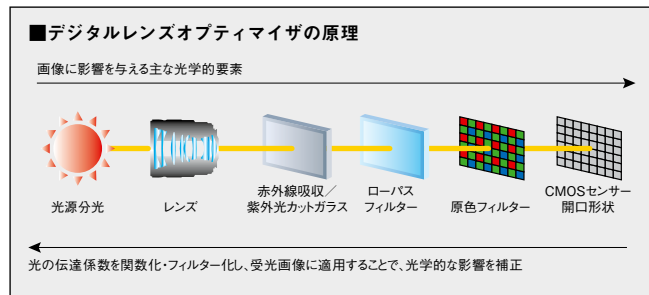
これまで「EOS Utility」を介してダウンロードで取得、カメラに登録してきたレンズ光学補正データを、EOS-1D X Mark IIはデフォルトで内蔵[※]。手にしたその瞬間から光学補正機能を活用できます。また、今後発売される新レンズは補正データをレンズ内に備えているため、別途、追加登録する必要がありません。

※レンズ光学補正のデータを内蔵したレンズに限り
※回折補正はレンズ光学補正データがないレンズでも使用できます。

プロ待望の、カメラ内デジタルレンズオブティマイザ。

「Digital Photo Professional」で高い効果を実証しているデジタルレンズオブティマイザ。これをカメラに実装するため専用ICを新開発し、カメラ単独での使用を可能にしました。レンズ光学補正で対応できない各種収差（コマ収差、サジタルハロ、非点収差、球面収差など）や、ローパスフィルターが画像に与える影響などを、詳細な光学設計値に基づいて補正[※]。より高精細な作品を撮影現場で完成させることができ、ワークフローの効率が高まります。

※カメラ内RAW現像時に適用できます。※効果がわかりにくい場合があります。



●公開済みの補正データをすべてカメラに内蔵。

これまでのデジタルレンズオブティマイザは、補正データをダウンロードし、「Digital Photo Professional」に登録する必要がありました。その補正データをあらかじめカメラに内蔵^{※1}。使用レンズに合わせて追加・登録することなく^{※2}、すぐに補正を行うことが可能です。

※1 一部、補正用データが用意されていないレンズもあります。
※2 今後発売されるレンズに関しては、EOS Utilityを介してカメラへの追加登録が必要です。

作画機能

多様な撮影目的と表現意図に対応する、多重露出撮影機能。

複数の画像を重ね合わせる多重露出撮影が可能。作品にドラマ性を付加する、動体の軌跡を記録するなど、多様な撮影目的に活用できます。一度に設定できる多重枚数は2～9枚。多重露出1枚目として撮影済みのRAW画像[※]を選択できるため、場所や時間を変えての多重露出や、10枚以上の重ね合わせも可能です。1枚目をRAWで撮ると多重画像もRAWとなり、現像処理で画像調整が行えます。

※EOS-1D X Mark IIでの撮影画像に限り。
※M-Raw、S-Raw、JPEGは選択できません。



●多重露出モード：機能・操作優先

シャッターを切るごとに、また再生操作によっても重ね合わせの結果を液晶モニターで確認できます。撮影中にファインダー撮影とライブビュー撮影を切り換えることが可能。ライブビュー撮影では、これまでの多重露出結果を透過表示しつつ次の1枚を撮影でき、構図合わせが容易です。また、意図しない結果になった場合、画像合成を1枚前の状態に戻して撮影し直せます。最終的な多重画像はもちろん、撮影した全画像を保存できるため、気に入った1枚のみを選び、独立した作品とすることも可能です。

●多重露出モード：連続撮影優先

速い動きを高速連続撮影し、その軌跡を1枚の画像で表現できます。スポーツや動物などの撮影に効果的です。記録するのは多重画像のみ。EOS-1D X Mark IIでは撮影途中のライブビュー映像[※]を表示でき、軌跡の映り具合を直感的にイメージすることが可能です。

※撮影した画像をばりリアルタイムで表示します。多重合成した結果ではありません。
※「連続撮影優先モード」では、撮影途中の「メニュー画面の表示」「ライブビュー表示」「撮影直後の画像確認」「画像再生」「撮影のやり直し」「全画像の保存」はできません。

●多重露出制御

重ね合わせる画像の露出を、加算／加算平均／比較（明）／比較（暗）から選択。多様な撮影条件と表現意図に対応します。

RAW現像

デジタルレンズオブティマイザも可能になった、カメラ内RAW現像。

RAW画像をカメラ内で現像する際の、設定可能項目がさらに充実しました。オートホワイトバランス「雰囲気優先」「ホワイト優先」が選択可能。ピクチャースタイルに「ディテール重視」を追加するほか、シャープネス「細かさ／しきい値」も設定できます。さらに、レンズ光学補正で「デジタルレンズオブティマイザ」「回折補正」を適用できるなど、従来から設定可能だった項目と合わせ、柔軟な画作りが可能です。

※M-Raw、S-Rawは現像できません。



高機能RAW現像ソフトウェア「Digital Photo Professional」。

RAW現像が行えるソフトウェアです。高度な画像調整機能、HDRや多重合成などの作画機能を搭載。直感的なインターフェースと高速処理により、柔軟な画作りとワークフローの効率化に貢献します。

このAFシステムが目指すのは、先を読むプロの技術だ。



熱田 護
Mamoru Atsuta

フルバンクでコーナーを駆け抜けるマシン。フレーミングすら精一杯の超望遠、流し撮り。結果を確認して、うなった。そこには予想を超える、迫真の1コマがあった。

EF600mm F4L IS II USM+EXTENDER EF1.4×III, F7.1, 1/640秒, ISO 100, ピクチャースタイル:スタンダード

AIサーボAF III+

速度と軌跡の急変に対応する、最新の予測測距アルゴリズム。

障害物を検出する。測距点から被写体がはずれる。このような予測AF制御に影響を与える要因を排除し、レンズ駆動の安定性と突然の

動き出しにも対応する応答性を高度に両立したAIサーボAF III。EOS-1D X Mark IIは、そのアルゴリズムをさらに進化させたAIサーボAF III+を搭載しています。フィギュアスケートやモータースポーツにおけるヘアピンコーナーなど、接近してきた被写体が突然に高速で遠ざかるようなシーンへの対応力を強化。ファインダーで追うだけでも困難だった被写体を、高いピント精度で捉えられます。



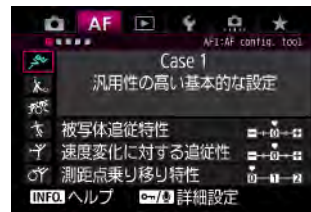
●ISレンズとのシステム連動による予測精度の向上。

これまでと連続性に欠ける測距結果が得られたとき、それが障害物の影響なのか、被写体の軌跡が急変したのかは、カメラの振り方からも判断することができます。AIサーボAF III+はISレンズに搭載されたIS用ジャイロ(加速度センサー)を利用して、パンニングとテイルテイングを検出。障害物の判断に利用。被写体追従中に障害物が一瞬横切るようなシーンでも、ピントが乗り移らないよう安定的に制御します。

*一部、非対応のISレンズがあります。また、今後発売されるすべてのISレンズで有効に機能します。

AIサーボAFの使いこなしをサポート。AFカスタム設定ガイド。

サッカーのように被写体がトリッキーな動きをしたり、他の選手と頻繁に交錯したりするようなシーンでも、安定したレンズ駆動を実現。ケースを選ぶだけで、その状況に対して最も効果的なAIサーボAF特性となるよう、各種のパラメーターが自動設定されます。各項目を手動で設定する煩わしさがなく、設定の確実性と機動性が高まります。



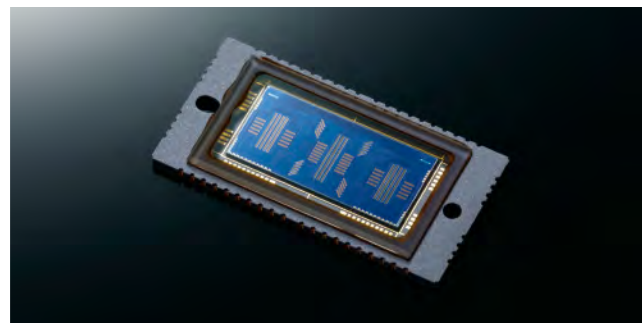
●AIサーボAF特性のチューニング。

「被写体追従特性」「速度変化に対する追従性」「測距点乗り移り特性」。被写体の動き方や速度に合わせこれらのパラメーターを調整し、AIサーボAFの特性をカスタマイズすることが可能です。

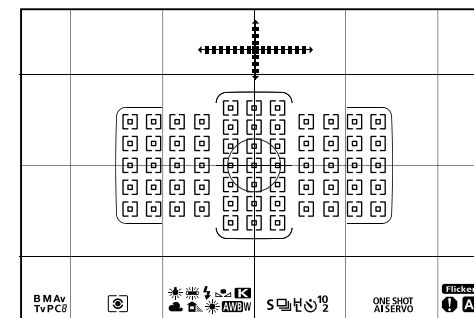
新61点高密度レティクルAF

AF信頼性の極致を目指し、AFシステムを新開発。

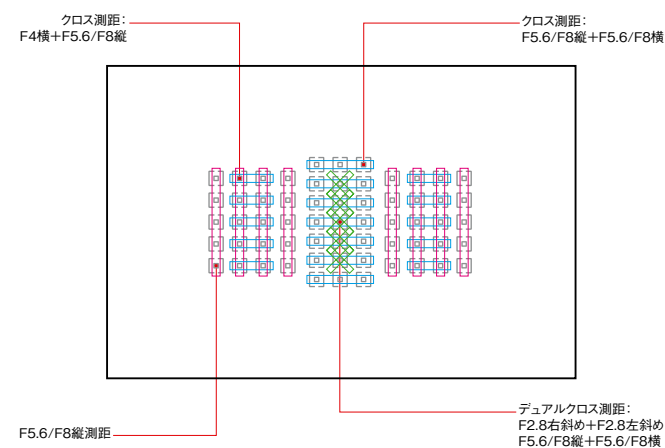
測距可能エリアをより広く。エクステンダーを使用した超望遠撮影時も、より高いピント精度と構図の自由度を。プロの高度な要求に応え、AFシステムを刷新しました。新開発のAFセンサーを核に測距光学系とAFアルゴリズムを再構築。測距点は61点。測距エリアはEOS-1D X比で周辺部を縦:約24%、中央部を縦:約8%拡大しています。激しく動く被写体もさらに捉えやすく、逃がしにくくなり、スポーツや野生動物などの撮影が容易です。



測距視野配置図



測距パターン概念図



●全測距点が千鳥配列2ライン測距に対応。

すべての測距点が、2つのラインセンサーをずらしてレイアウトする、千鳥配列2ライン測距に対応。一般的な1ライン測距よりも細かいパターンに対する焦点検出が可能で、高い合焦精度を発揮します。

*2ライン測距は、1点AFとスポット1点AFのときに機能します。

最大41点、デュアルクロス5点のクロス測距。

プロが多用する開放F4のLレンズ、またはF2.8のLレンズとエクステンダーEF1.4×IIIの組み合わせ時も、最大41点(F4.0+F5.6:20点、F5.6+F5.6:21点)のクロス測距が可能です。被写体パターンの影響を受けにくく、AFエリア周辺部でも優れた捕捉能力を発揮します。さらに中央部の縦5点はF2.8+F2.8とF5.6+F5.6を組み合わせたデュアルクロス測距に対応。開放F2.8のレンズ使用時、より敏感な焦点検出を可能としています。

*使用レンズにより、測距点数とクロス測距点数、デュアルクロス測距点数が変動します。

暗所におけるAF撮影の限界を広げる、-3EV対応測距。

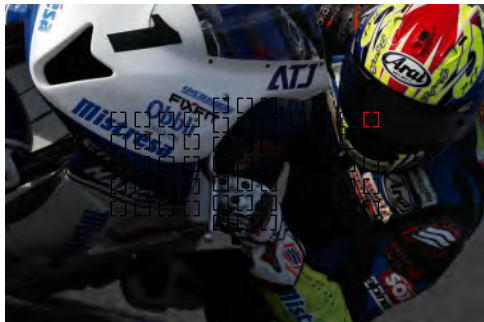
AFセンサーの表面に反射防止層を形成する、新しい半導体プロセスを採用。透過率を高めることで感度を高め、測距輝度範囲を-3EVに拡大しました。肉眼で視認しにくい暗所でもAF撮影が可能です。

*中央1点、F2.8より明るいレンズでワンショットAF時。

最大61点がF8 AFに対応。鋭敏さと安定性の高度な両立。

エクステンダー撮影の可能性を拡大する、全点F8対応測距。

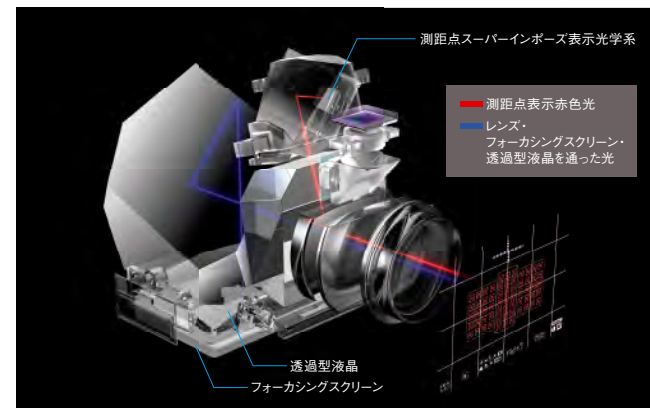
新開発のAFシステムは、すべての測距点がF8光束に対応（クロス測距点：最大21点）。開放F4レンズとエクステンダーEF×2IIIを組み合わせても、任意の測距点で被写体を高速・高精度に捉えます。これにより、測距エリア選択モードの「自動選択AF」「ラージゾーンAF」「ゾーンAF」と、EOS iTR AFを活用した被写体追尾が可能に。撮影ポジションが制限されるスポーツイベントなどでも、自由な構図と高いピント精度を両立できます。



暗いシーンや黒い被写体を追尾しやすい、測距点の赤色表示。

測距点をスーパーインポーズで赤色表示。選択した測距点、合焦した測距点の視認性を向上させました。透過型液晶では見えにくかった暗いシーンや黒い被写体も被写体捕捉が容易になります。表示輝度は2段階で設定可能。これまでより広い測距範囲をカバーしつつ、明るさと表示品位を確保するため、新規設計の投光光学系を採用しています。

*AFエリアとゾーンは透過型液晶で表示されます。

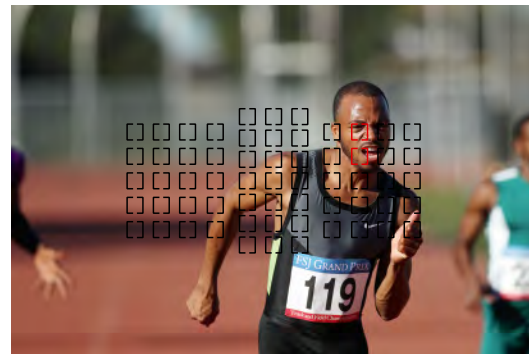
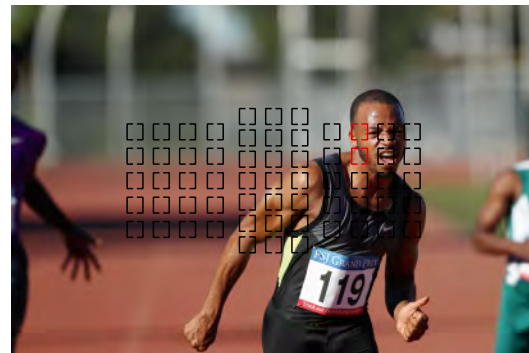


EOS iTR AF

小さな顔・細かな色も高精度に捉えるEOS iTR AF。

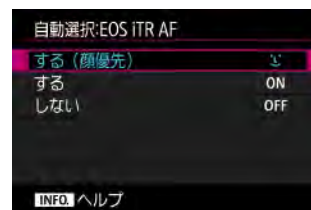
予測を超えた被写体の動きにカメラが反応し、高いピント精度を確保する先進のAF機能がEOS iTR AFです。EOS iSA Systemが顔や色、形を検知。その動きに合わせて測距点が乗り移り、ピントを合わせ続けます。約36万画素RGB+IR測光センサーの採用により、従来よりも遠く、小さな顔に対する検知能力が向上。これと色や人の形などの情報を利用する最新のアルゴリズムとの相乗効果により、被写体選択の精度と追尾の安定性を高めています。

*iTR=Intelligent Tracking and Recognition *「自動選択AF」と「ラージゾーンAF」「ゾーンAF」で有効です。



被写体に応じてEOS iTR AFの動作特性を設定可能。

EOS iTR AFによる測距点の自動選択条件を拡充しました。[する（顔優先）]では、人物の顔情報を優先しつつ、測距情報と被写体の色情報などをもとに測距点を選択し、被写体を追尾。新設の[する]では、顔情報よりも色情報を優先的に活用して被写体を追尾します。顔が検知できないときや、被写体が人物でない場合でも、EOS iTR AFを効果的に活用することが可能です。また、[しない]を選択すると、顔情報に影響されことなく、測距情報をもとに測距点を選択、被写体を追尾。撮影条件に合った動作特性が得られます。



測距エリア選択モード

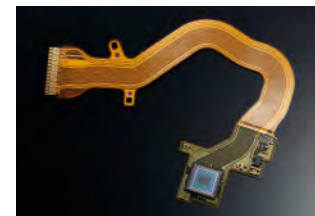
ラージゾーンを追加し、さらに多様なシーンに対応。

測距エリア選択モードは「スポット1点AF（任意選択）」「1点AF（任意選択）」「領域拡大AF（任意選択上下左右）」「領域拡大AF（任意選択周囲）」「ゾーンAF（ゾーン任意選択）」「自動選択AF」を搭載。構図へのこだわりと動体撮影の確実性を両立できます。さらに、全測距点を3ゾーンに分割する「ラージゾーンAF（ゾーン任意選択）」を新たに用意しました。広いゾーンとその中に高密度に配置されたF8対応測距点とEOS iTR AFにより、高速で動く被写体の撮影の確実性を担保できます。

EOS iSA System

シーン解析の精度を高める、約36万画素RGB+IR測光センサー。

AE、AF、画作りの統合による、表現力と撮影機能の大幅な向上。それを可能にするのがEOS iSA Systemです。EOS-1D X Mark IIIは、新開発の約36万画素RGB+IR測光センサーと、シーン解析専用のDIGIC 6を搭載。画素数を従来の約3倍（EOS-1D X比）にアップすることで、色・形・輝度検出の分解能を高めました。これまでより小さな顔、被写体の細かな動きを検知でき、評価測光の安定性やAFの被写体追従性能が向上しています。*iSA=Intelligent Subject Analysis



約36万画素RGB+IR測光センサー

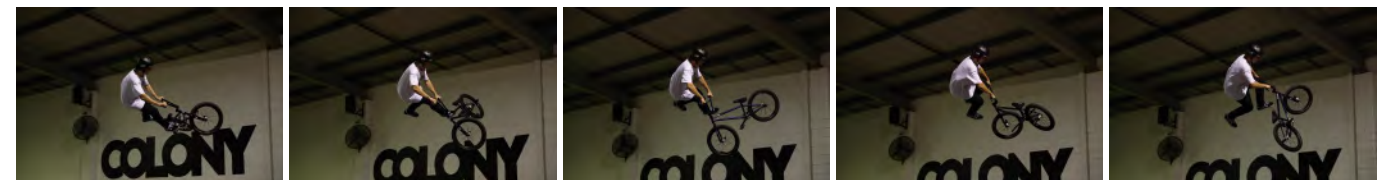


DIGIC 6 (EOSシーン解析システム用)

フリッカーレス OFF

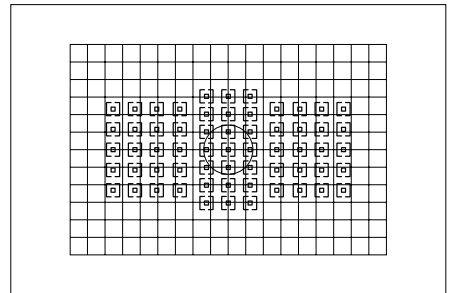


フリッカーレス ON



新アルゴリズムに基づく、216分割評価測光／評価調光。

約36万画素RGB+IR測光センサーを活用した、216分割測光／調光を採用。これと最新のアルゴリズムにより、測光と調光の精度と安定性をさらに高めました。また、センサーからの信号読み出し方法を改善することにより、低輝度時でも216分割のきめ細かな測光を実現しています。



●進化した評価測光／調光アルゴリズム。

EOS iSA Systemによる顔検知や色情報、AFシステムからの測距情報を総合的に判断し、主被写体を適切な明るさにする新しいアルゴリズムを採用しています。顔検知は評価測光とE-TTL II自動調光の補正に活用。色情報は、露出に影響を及ぼす緑色や黄色などを検出し、評価測光に反映。AEの精度と安定性のさらなる向上を図りました。

●測光モード

評価測光のほか、「部分測光」「スポット測光（中央部／測距点連動／マルチ）」「中央部重点平均測光」を搭載。多様な撮影条件に対応します。

人工光源下での画質安定性を高める、フリッカーレス撮影。

人工光源の明滅周期をEOS iSA Systemが検出。光量ピークに近いときにレリーズのタイミングを制御することで、コマ間の露出や色のばらつき、画面内の露出ムラ・色ムラを抑えます。フリッカーが発生しやすい屋内競技場やナイター照明下の撮影などで有効です。EOS-1D X Mark IIIは熟成したフリッカー光源検知アルゴリズムを搭載。画面の一部にフリッカーの影響が現われるシーンでも効果を発揮します。

*100Hzと120Hzのフリッカーにおいて有効です。*フリッカー光源で撮影時、レリーズタイムラグがわずかに長くなる場合があります。また、連続撮影速度が低下したり、連続撮影間隔にばらつきが生じる可能性があります。*ライブビュー撮影時、動画撮影時には機能しません。*光源や撮影条件によっては効果が得られない場合があります。

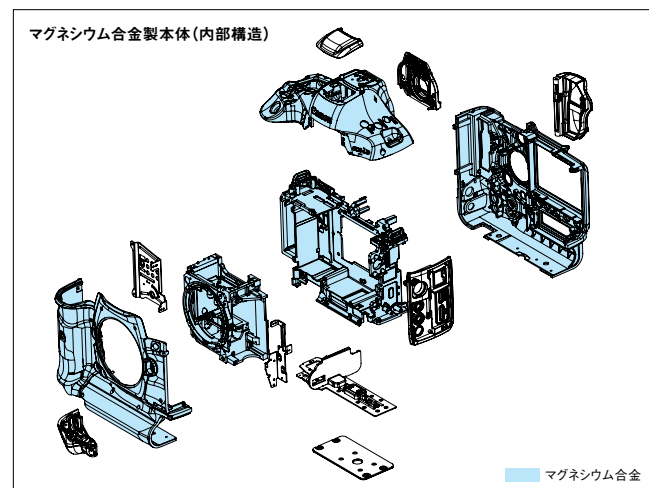
過酷な環境に挑むプロのために、先進技術を結集した。



耐久性・耐環境性

高剛性と軽量化の両立。マグネシウム合金製ボディ。

上・前・後カバーおよびメモリーカードスロットカバーに、高剛性かつ軽量のマグネシウム合金を採用しました。耐久性、耐衝撃性、電磁シールド性、放熱性のすべてを備えた、機能的な外骨格を形成しています。さらに、ミラー駆動システムやシャッターユニットなど、主要なメカ機構を実装する内部構造(本体)にもマグネシウム合金を採用。剛性アップと軽量化を追求しています。



シャッター作動試験40万回をクリア。高耐久メカ機構。

カーボン繊維の表面に摩擦低減処理を施した複合材料をシャッター羽根に採用。高速連続撮影に必要な軽さと薄さ、耐久性を高める強さを備えます。このシャッターユニットはミラー駆動システムに組み込んだ状態で40万回超のシャッター作動試験をクリアしています。



悪条件下での撮影を支える、防塵・防滴構造

すべてのダイヤル、ボタン、スイッチにシール部材を配置。外装カバーの合わせ部に、異物の侵入しにくい構造を採用。さらに、液晶パネルやランプなどの窓部にもシーリングを施しました。入念な防塵・防滴処置により、雨滴や砂埃などの侵入を防ぎ、精密な機構を保護することで、悪条件の中でも正確な動作を可能にしています。



カメラ内部の温度上昇を抑える、放熱構造。

高性能を安定して発揮するために、放熱構造を採用しました。CMOSセンサーや映像エンジンなどが発生する熱を、ヒートパイプで本体(内部構造)の外へと伝熱。熱伝導率の高いアルミニウム合金製の電池室天面を介して外装へ導き、効率よく放熱。動画撮影や高速連続撮影時も、温度上昇による機能制限の発生を抑えます。



過酷な環境でも高い測距精度を発揮する、AFユニット。

AFユニットは、耐環境性能に優れたボックス構造です。材質はもちろん接着剤まで徹底的に吟味し、衝撃に対する歪み、温度変化によって生じるたわみなどを抑制。測距光路を精度よく保持します。また、二次結像レンズは信頼性に優れたガラスモールドで成型。高温、高湿、極低温などの影響を受けにくく、優れたAF精度を安定して発揮します。



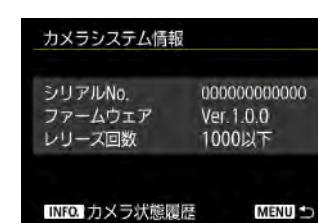
多様なゴミに効果を発揮する新セルフクリーニング機構。

超音波振動でゴミを除去するセルフクリーニングセンサーユニット。EOS-1D Xで実現したゴミを移動させる搬送波方式と、ゴミを弾き飛ばす従来方式を組み合わせた、新しいユニットを採用しました。より多様な形状や大きさ、付着性の高いゴミに対しても効果を発揮します。



システムトラブルの事前回避に役立つ、カメラシステム情報。

カメラのシリアル番号とファームウェアバージョン、総レリーズ回数を確認可能。また、カメラ状態履歴画面からは、エラーやCautionの履歴をカメラ本体で確認することができます。



Lレンズとの組み合わせで高気密性を確保。

Lレンズはカメラ本体と同様の防塵・防滴構造を採用。リングやスイッチ、ボタンにシール部材を配置するほか、マウント部にラバーリングを装備し、カメラに装着時、システム全体で高い機密性を確保します。さらに衝撃や振動などを考慮してメカ機構を設計。プロの過酷な撮影状況に対応する信頼性と耐久性を実現しています。

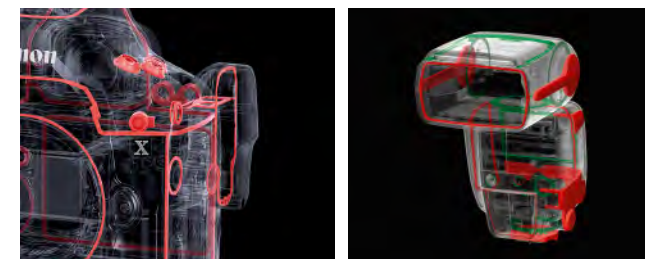


*対応していない機種もあります。

システムアクセサリにも防塵・防滴構造を展開。

新開発のワイヤレスファイルトランスミッターWFT-E8Bは外装の合わせ目などをシール部材で封止。また、スピードライトおよびスピードライトアクセサリも可動部・操作部をシーリングするほか、シューにも防塵・防滴機構を採用して通信信頼性を確保しています。

*対応していない機種もあります。

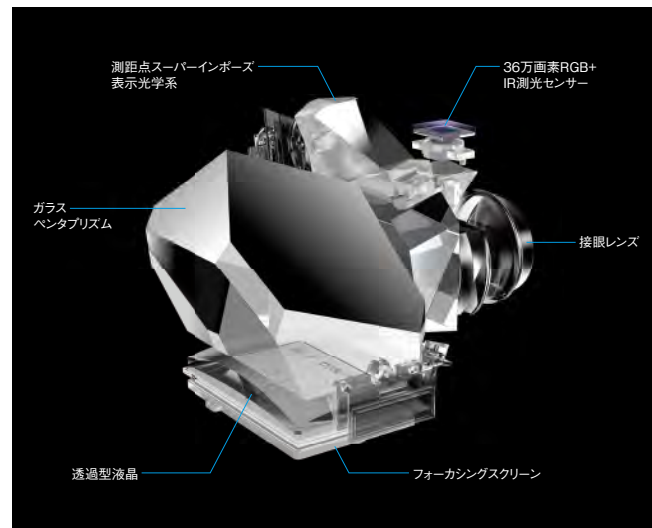


眼と手に触れるすべてに、プロの声をフィードバックした。

光学ファインダー

視野率約100%、倍率約0.76倍。収差の少ない高品位な視野。
広い視野と、覗き方によって見え方が変化しにくい高品位なファインダー像。新CMOSセンサーに合わせ、ファインダー光学系を最適設計しました。視野率は約100%、アイポイントは約20mm。高屈折率ペンタプリズムと高屈折率ガラスによるコンデンサレンズ／接眼レンズを使用することで、約0.76倍(50mmレンズ・ ∞ ・ -1m^{-1})の高倍率と低収差を両立し、画面の隅々までクリアで明るい視野を実現しています。

*標準フォーカシングスクリーンは明るく、ピントの山がつかみやすいEc-C6となります。



●視認性を高めたファインダー視野外表示。

ファインダー視野外の表示に有機ELパネルを採用。低温時の応答性を高めるとともに、高コントラストによる視認性の向上も図っています。

●新設の露出設定メーター。

ファインダー視野下部の表示に露出設定メーターを追加。従来の「+/-」表示では分からなかった露出補正値をバーで示します。リアルタイム測光値を表す露出レベル表示(視野右側)と比べることで、標準露出と実際の露出値、露出補正の相対的な関係を的確に把握することが可能です。たとえば露出オーバーと表示されたとき、それが「露出設定によるものか、露出補正によるものか」を見分け、「いずれの側を」「どの程度調整すればよいか」まで瞬時に判断できます。



EOS-1D X Mark II: 視野外表示

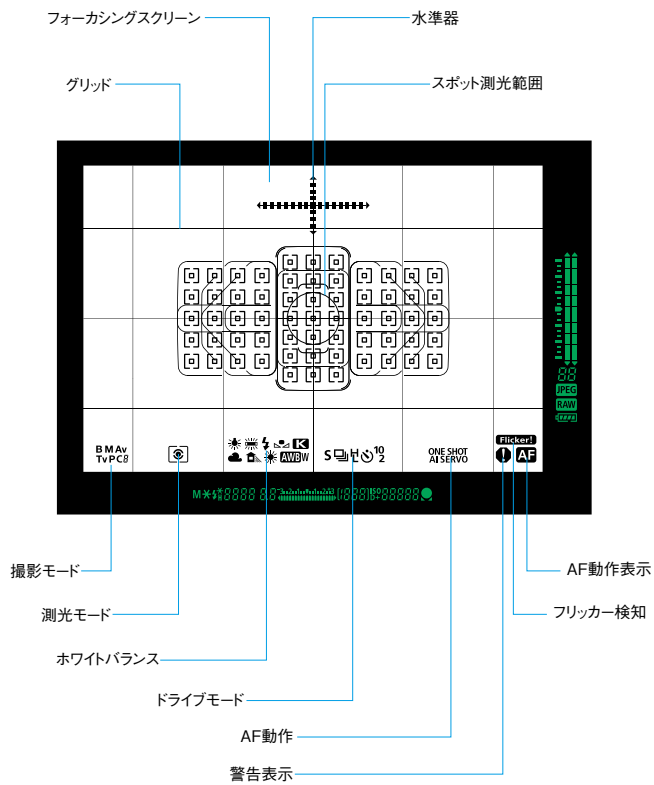


EOS-1D X: 視野外表示

接眼したまま設定変更。インテリジェントビューファインダーII。

ファインダー視野内に情報を表示する、透過型液晶を採用。電子水準器を専用表示(水平方向／あおり方向に対応)とするほか、主に撮影系の視野内情報表示を充実させたインテリジェントビューファインダーIIです。これにより、被写体から目を離すことなくカメラの設定を把握・変更することが可能となり、ファインダー撮影の機動性が向上します。

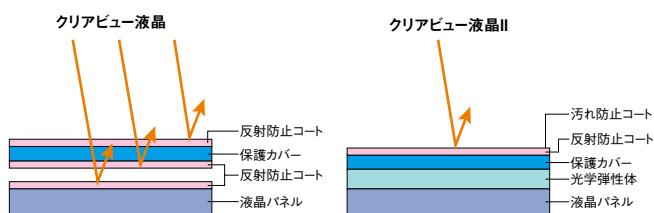
*水準器(専用表示)、グリッド、撮影モード、測光モード、ホワイトバランス、ドライブモード、AF動作、フリッカー検知表示は表示(する／しない)の選択が可能です。



クリアビュー液晶II

高精細約162万ドット、解像感と視認性に優れた液晶モニター。

液晶モニターは、大型・広視野角の3.2型クリアビュー液晶IIです。強化ガラス製の保護カバー(汚れ・反射防止コート)と液晶パネルの間に光学弾性体を充填することにより、外光反射と内部反射を抑制。優れた視認性を発揮。さらに、約162万ドットの高精細な液晶パネルを新規採用することで、拡大表示でのピントチェックを容易としています。



操作性

ファインダー撮影時のクイック設定画面を自在にカスタマイズ。

すぐに確認・変更したい機能は、撮影者ごとに異なります。そのためクイック設定画面のカスタマイズを可能としました。機能を23項目から選び、画面内の任意の場所に、見やすいサイズで配置できます*1。デフォルトの画面*2とは別に登録されるため、特定のテーマ用と通常撮影用で画面を使い分けることも可能です。

*1 選択できるサイズは項目によって異なります。また、一部、サイズを選択できない項目があります。

*2 [INFO.]ボタン押しで画面を切り換える際、表示させないよう設定することも可能です。

快適かつ俊敏な操作を実現する、操作ボタンカスタマイズ。

主要なボタンとダイヤル、マルチコントローラーに好みの機能を割り当てられる操作ボタンカスタマイズ。その設定可能項目を充実させました。マルチファンクション2ボタン、絞り込みボタンとともに、撮影系だけでなく、再生に関わる主要な操作も割り当て可能に。また、SETボタンに「ストロボ機能設定」を追加しています。

5タブまで登録可能になったマイメニュー。

よくアクセスする項目を任意で選び、ひとつの画面に6項目まで登録できる「マイメニュー」を強化。タブを追加(最大5つまで)／削除できるほか、タブの一括削除、すべてのタブの項目一括削除、タブの名称変更など、タブと項目の管理・編集を容易にしています。

さらに充実したカスタム機能。

機能向上と撮影スタイルの多様化に対応し、項目を34種に拡充しました。また、一部項目については設定可能な内容も充実させています。

操作部材の改良と、小さな手でも握りやすい新形状グリップ。

プロの声を反映し、ボタンの配置や操作感を改良しています。また、グリップの形状も刷新し、手の小さい撮影者でも良好なホールド感を実現。長時間の撮影でも疲労を軽減し、ハードな撮影をサポートします。



ライブビュー撮影

高速かつスムーズな合焦、デュアルピクセルCMOS AF。

デュアルピクセルCMOS AFに対応。すべてのEFレンズ*で高速かつスムーズなAF撮影が行えます。AF可能な範囲が画面内の縦：約80%×横：約80%と広く、自由な構図づくりが可能です。また-3EVという暗い環境に対応。ファインダーで目視が難しいシーンでも、明るく調整された視野で快適なAF撮影を実現します。

*マニュアルフォーカスレンズ等、一部のレンズを除きます。

タッチ操作によるAFフレーム設定が可能になった、AF方式。

AFモードはワンショットAF。AF方式は、「顔+追尾優先AF」「ライブ1点AF」の2種類を搭載しました。「顔+追尾優先AF」では、カメラが顔を検出して自動的にAFフレームを設定します。「ライブ1点AF」では、デュアルピクセルCMOS AFのエリア内の任意の位置にAFフレームを設定することが可能。新しく採用した静電容量方式のタッチパネル機能により、すばやく撮影準備を完了できます。



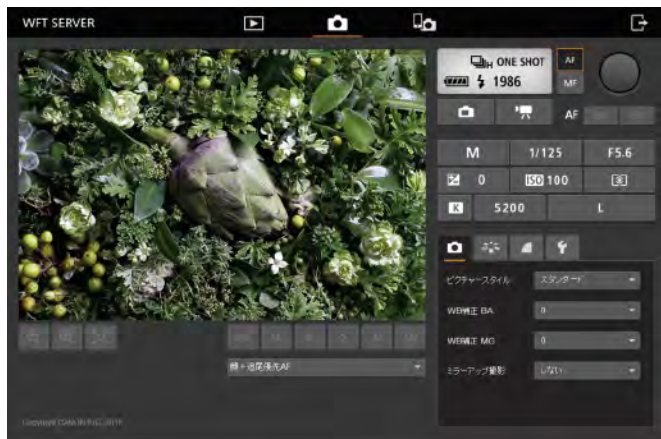
*コンティニュアスAFは非対応です。
*タッチパネル機能はAFフレームの移動と拡大表示にのみ対応。メニュー機能、クイック設定機能などには対応していません。

電子先幕シャッターによるLVソフト撮影／ソフト連続撮影。

ライブビュー撮影時、「LVソフト撮影*」が設定可能です。ミラーアップしたまま電子先幕シャッター(後幕はメカシャッター)で露光するため、メカ駆動音を抑え、動作音をソフトな印象にできます。
○[モード1]: 最高約5コマ／秒の連続撮影が可能です。
○[モード2]: 1枚を撮影した後、シャッターボタンを戻すまでシャッターチャージを行わない状態で待機。また、機械的な先幕の駆動／停止に伴うわずかな振動すら解消したいときにも効果を発揮します。

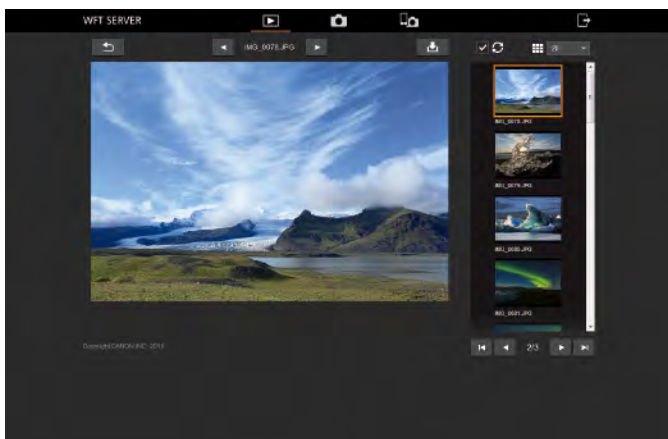
*レリーズタイムラグが通常撮影時よりわずかに長くなります。
*メニュー「LVソフト撮影」でモードを選択時に効果が得られます。[なし]設定時は、ドライブモードで「ソフト連続撮影」を選んでもソフト効果はありません(連続撮影速度の設定のみ有効です)。

ワークフローへの深い理解が、フォトグラファーをサポートする。



WFTサーバー「詳細撮影」画面

写真はハメコ合成です。

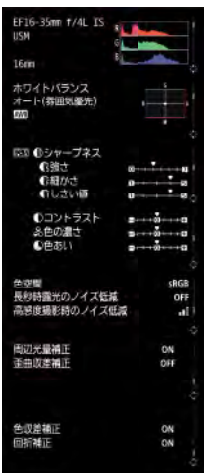


WFTサーバー「画像閲覧」画面:1枚表示+サムネイル

画像再生／リサイズ／トリミング

撮影情報をより詳細に、効率よく確認できる画像再生機能。

従来は4画面で表示していた情報を、3画面に集約。画面を切り換える頻度が下がり、画像・情報確認の効率がアップします。表示画面は「情報表示なし」「簡易撮影情報表示」「撮影情報表示」。「撮影情報表示」は、レンズ情報とレンズ光学補正、ノイズ低減機能に加え、情報量がさらに充実。一方で縦スクロールのグラフィカル・ユーザーインターフェースを採用することにより、大きく見やすい表示も実現しており、視認性が向上しました。



撮影情報表示

撮影情報表示（スクロール時）

●必要な撮影情報へのダイレクトアクセス。

「撮影情報表示」画面を表示中、マルチコントローラーを操作することで、ホワイトバランスやピクチャースタイル、色空間／ノイズ低減、レンズ光学補正、GPS情報の各画面を表示することが可能。スクロールすることなく必要な情報を確認することができます。

●インデックス表示／ジャンプ表示。

一度に4枚／9枚／36枚／100枚の画像をインデックス表示することができます。一度に表示できるサムネイルを増やしたことで、大量の撮影画像からでも見たいシーンや1枚を素早く見つけることが可能です。また、新たにプロテクト画像のみのジャンプ表示に対応。従来の10／100枚送りや撮影日、レーティングなどと合わせ、検索性が向上しています。

画像転送の効率を高める、カメラ内リサイズ。

撮影したJPEG画像をカメラ内で縮小リサイズ*できます。リサイズした画像は、新規画像として保存。大量の画像をワイヤレスファイトランスミッターで転送、速報に使用するようなワークフローで有効です。

*画像サイズSで撮影した画像は、リサイズできません。*4K動画からフレーム切り出した画像は、リサイズできません。

パソコンレス環境で画像の構図調整ができる、カメラ内トリミング。

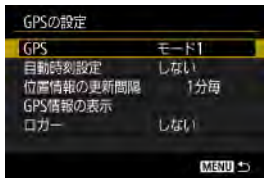
JPEG画像をカメラ内でトリミング*し、新規保存できます。トリミング範囲のサイズを41段階（対角比約13～95%の範囲）で微調整できるほか、トリミング枠の縦／横切り換えや移動が可能。パソコンがなくても、撮影した現場で構図を整えることができます。

*アスペクト比の選択・変更はできません。

カメラ内GPS機能

GPSレシーバーなしで画像に位置情報を付加。

EOS-1D X Mark IIはGPSユニットを内蔵。報道やネイチャーフォトなどの分野で画像管理に必要な位置情報（緯度、経度、標高、協定世界時）を取得し、Exif情報に付加できます。アメリカのGPS衛星、ロシアのGLONASS衛星、日本の準天頂衛星みちびきのGPS信号に対応。3種類の衛星に対応することで、位置消失の低減と優れた測位精度を実現しました。カメラの電源オン直後でも位置情報を記録できるよう、衛星捕捉状態を維持し続けるか、カメラの電源と合わせてGPS機能もオン／オフにするか、モードの選択が可能です。



*使用する環境によっては衛星捕捉状態を維持できないことがあります。

*オートパワーオフ中は一定間隔でGPS信号を受信し続けます。

*GPSレシーバーGP-E1／GP-E2は使用できません。また、市販のBluetooth対応GPSは接続できません。

移動の軌跡を地図上で確認できるロガー機能。

一定間隔でカメラ位置情報を取得し、記録できるロガー機能を搭載。ログを辿ることで移動の軌跡を確認することが可能です。「ログ記録」を[する]に設定すると、測位モードに関わらずオートパワーオフ時／電源オフ時も測位を継続。設定した更新間隔で位置情報を取得し、内蔵メモリーに記録します。蓄積したログデータは、パソコンの地図上にマッピングし、撮影場所や移動ルートの表示と確認に利用できます。

複数カメラの時刻合わせが可能、自動時刻設定機能。

複数のカメラで撮影した静止画の管理、動画の編集では、各カメラの時計が正確に合っていることが不可欠です。GPS信号に含まれる時刻データをカメラに設定することで、その時刻合わせ作業を自動化。協定世界時に対する誤差は約±0.02秒と、手動設定よりはるかに高精度です。

ネットワーク機能

大容量ファイルを高速転送。USB3.0に対応したデジタル端子。

USB3.0のデジタル端子を装備。付属の専用インターフェースケーブルIFC-150U IIでパソコンと接続することにより、画像の高速転送を可能にします。端子の規格はSuperSpeed USB のMicro B。信頼性を考慮し、端子保護用のケーブルプロテクターも付属です。

*インターフェースケーブルを接続するときは、必ず付属のケーブルプロテクターを使用してください。

*インターフェースケーブルIFC-500U II（約4.7m）使用時は、USB2.0での転送となります。

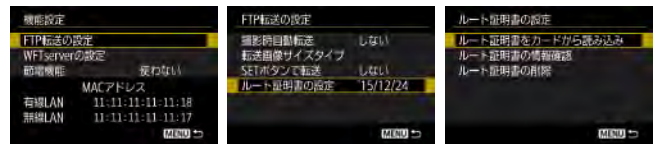
Ethernet 1000BASE-Tの高速通信に対応。

カメラ本体に有線LAN機能を内蔵しています。IEEE 802.3u（Ethernet 10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-T）、最高約1000Mbps（理論値）の高速通信に対応。スタジオ内でのネットワーク接続による画像転送はもちろん、USBケーブルでは届かない遠距離でのリモートライブビュー撮影なども可能です。

●よりセキュアなFTPSモードを新搭載した、FTPサーバー。

撮影した画像をFTPサーバーに転送できます。従来の「FTPモード」に加え、EOSカメラとして初めて「FTPS*モード」を搭載。データを暗号化して送受信する仕組みのひとつ、SSL／TLSを使ってFTP転送を行うことにより、より高いセキュリティを確保できます。また、FTPSの運用に必要な「ルート証明書」にも対応。パソコンで取得した「ルート証明書」を、メモリーカードを介してカメラに設定。強度の高い暗号で画像の流出や不正使用を抑えることが可能です。

*File Transfer Protocol over SSL／TLS



●リモート撮影や画像の自動転送が可能なEOS Utility。

画像をパソコンに自動転送できるほか、リモートライブビュー撮影にも対応しています。カメラのライブビュー画面をリアルタイムでパソコンに表示。そのまま画面上で撮影機能の調整とレリーズが可能。スタジオ撮影の効率が高まります。

●動画撮影や携帯端末に対応を果たした、WFTサーバー。

パソコンでリモート撮影や画像の閲覧ができる機能です。一般的なブラウザを使うため、専用ソフトのインストールが不要。グラフィカル・ユーザーインターフェースを刷新し、業務用途における実用性と使いやすさを大幅に高めています。従来の静止画に加え、動画のリモート撮影やAF機能設定、ライブビュー撮影時の拡大表示にも新たに対応。また、画像閲覧においても、RAW画像の再生、動画再生、1枚表示での画像送りなどが可能となり、多様なワークフローに対応できます。

スマートフォン／タブレット対応。

カメラと無線LANアクセスポイントを有線LAN接続。アクセスポイントを介して、スマートフォンやタブレットからリモート操作することが可能です。スマートフォン専用アプリ「Camera Connect*1」を使い、基本的なリモート撮影や画像・動画転送*2が行えます。また、WFTサーバーにアクセスしてカメラを操作することも可能。スマートフォンに最適化した「簡易撮影」画面により、操作は快適です。

*1 スマートフォン、タブレットに専用アプリ「Camera Connect」をインストールする必要があります。「Camera Connect」はApp Store (iOS用)、Google Play (Android用) から無料でダウンロードできます。

*2 RAWは表示用JPEG、動画はMP4のみ転送できます。



カメラ間の高精度な時刻合わせを実現する、カメラ間時刻同期。

一度に最大10台のカメラをネットワークで結び、時計を高精度に合わせるができます。例えば複数のカメラで競技やイベントを撮影した場合、それぞれの画像を時系列で整理・検索することが可能。動画編集時も複数のクリップを正確にタイムライン上に並べられ、効率的です。

5GHz帯の高速通信規格、IEEE 802.11ac対応のWFT-E8B。

拡張システム端子にワイヤレスファイトランスミッターWFT-E8Bを装着することで、FTPサーバー、EOS Utility、WFTサーバーがワイヤレスで使用できます。IEEE 802.11a/b/g/n/acに対応。混信が少ない5GHz帯の高速通信規格、802.11acをサポートしたことで、通信信頼性と転送速度が向上。電波が混線しやすいスポーツイベント会場などでも、画像転送の確実性が向上します。また、空撮、クレーン撮影、狭小空間への仕込み、野生動物の遠隔撮影、スポーツのマルチアングル撮影などにも対応。取り回し性に優れた小型・軽量設計、防塵・防滴構造です。

*EOS-1D X Mark IIIに対し、WFT-E8Bも使用できますが、WFT-E7Bは使用できません。

*WFT-E8BはEOS-1D Xでは使用できません。





デュアルピクセルCMOS AFが4K映像制作の現場を変えていく。



DCI 4K／60P動画記録

デジタルシネマ規格の4Kを、最高59.94fpsで内部記録。

4K動画の内部記録を実現。外部レコーダーに依存しないコンパクトな機材構成で、機動的な4K撮影を可能にします。記録サイズは、デジタルシネマの標準規格であるDCI*解像度4096×2160、アスペクト比は約17：9。ポスト処理によりUHD（3840×2160、16：9）にも対応。フレームレートは59.94fps（NTSC）、50.00fps（PAL）まで設定でき、動きの速い被写体も滑らかに美しく記録します。4K記録では素材性を重視し、記録形式にMOV、圧縮方法にMotion JPEGを採用しています。また、音声为非圧縮のリニアPCMで収録することが可能です。

※ハリウッドの映画会社を中心にデジタルシネマの標準化を目的に設立されたDigital Cinema Initiatives準拠の規格。
*4Kの59.94fps、50.00fps記録にはCFast 2.0カードが必要です。

4K 4096×2160	NTSC		PAL	
	59.94fps	Motion JPEG	50.00fps	Motion JPEG
	29.97fps		25.00fps	
	24.00fps		24.00fps	
	23.98fps			

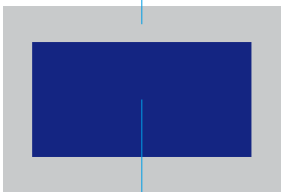
※カラーサンプリング方式：YCbCr4:2:2（8bit）

●スーパー35mmフォーマットをカバー。

DCI 4KはCMOSセンサー上の4096×2160のエリアをドット・バイ・ドットでクロップして記録します。実画面サイズは約26.9×14.2mmで、スーパー35mmよりわずかに大きく、シネマカメラの画角や被写界深度の感覚を活かした撮影が可能です。

※EOS-1D Cとは同じ焦点距離のレンズでも撮影範囲が若干異なります。

動画画面サイズと記録画素数
静止画面サイズ：約35.9×23.9mm
画素数：5472×3648（JPEGラージ）



4K画面サイズ：約26.9×14.2mm
画素数：4096×2160

フルHD／120P動画記録

119.9fpsのハイレームレートに対応した、フルHD記録。

フルHD（1920×1080、アスペクト比16：9）は圧縮方法にMPEG4 AVC／H.264を採用。また、多様な撮影目的や映像の用途に対応できるよう、カット編集に適したALL-Iと圧縮効率に優れたIPBを用意しています。さらに、EOSカメラとして初めて119.9fps（NTSC）、100.0fps（PAL）のハイレームレート動画撮影*を実現。29.97fps（NTSC）、25.00fps（PAL）に対して1／4倍速、ALL-Iによる高画質で滑らかなスローモーション映像を記録することが可能です。

※ハイレームレート動画撮影時、1シーンの撮影時間は最長7分29秒となります。タイムコードは、実時間1秒に対して4秒分カウントアップします（フリーラン設定時、タイムコードは記録されません）。また、音声は記録されません。

撮影目的やワークフローに最適な形式を選ぶ、MOV／MP4。

フルHD（1920×1080）の動画記録形式は、MOVに加えMP4も選択可能です。素材性を重視した撮影にはMOV、速報や配信、ワイヤレス転送などを前提とするならMP4というように、柔軟に使い分けられます。

※MP4設定時の圧縮方法は、IPBのみとなります。また、音声はACCで記録されます。

フルHD 1920×1080	NTSC			PAL		
	119.9fps	ALL-I	100.0fps	ALL-I		
	59.94fps	ALL-I	50.00fps	ALL-I		
		IPB		IPB		
	29.97fps	ALL-I	25.00fps	ALL-I		
		IPB		IPB		
	24.00fps	ALL-I	24.00fps	ALL-I		
		IPB		IPB		

フルHD 1920×1080	NTSC			PAL		
	59.94fps	IPB	50.00fps	IPB		
	29.97fps	IPB	25.00fps	IPB		
		IPB（軽量）		IPB（軽量）		
	24.00fps	IPB	24.00fps	IPB		

※カラーサンプリング方式：YCbCr4:2:0（8bit）

ファイルフォーマット

1ファイル4GBの壁を超える、exFATフォーマット。

128GBを超えるCFカード、およびCFast 2.0カードは容量に関わらずexFATでフォーマットが行われます。これまでの1ファイル4GB制限がなく、映像の取り込み時にファイルを結合する必要がありません。

*128GBまでのCFカードはFATでフォーマットされます。4GBを超えると新しいファイルを生成して記録を継続します。
*キヤノンは、さまざまな国／地域で登録されているCFast 2.0™ 商標の公認ライセンスラーです。

デュアルピクセルCMOS AF

すべてのEFレンズでデュアルピクセルCMOS AFが可能。

動画撮影時のAFシステムを刷新。先進の撮像面位相差AF技術、デュアルピクセルCMOS AFの採用により、被写体を瞬時につかむワンショットAFと滑らかで自然な動画サーボAFを実現しました。AFエリアは画面のほぼ全域をカバー（縦：約80％×横：約80％）。その範囲内であれば-3EV（常温・ISO 100）の低輝度でも測距が可能。シビアなフォーカス精度が要求される4K動画撮影を効率化します。

●タッチ操作によるAFフレーム設定が可能になったAF方式。

AF方式は、カメラが顔を検出して自動的にAFフレームを設定する「顔＋追尾優先AF」、AFエリア内の任意の位置にAFフレームを設定できる「ライブ1点AF」の2種類です。「ライブ1点AF」時、AFフレームの位置と大きさをタッチ操作で設定できます。



動画撮影時のピント合わせを効率化する、動画サーボAF。

動画にAFフレームとピントが追従する動画サーボAFを搭載。シビアな合焦精度が要求される4K動画撮影も、ワンマンで対応できて効率的です。「顔＋追尾優先AF」では、合焦した人物をカメラが自動的に追尾します。また、「ライブ1点AF」では、動画サーボAFの「AF速度」を10段階、「被写体追従特性」を7段階で設定可能です。＊一部対象ではないレンズもあります。

記録／編集機能・外部入出力

4K動画からのフレーム切り出しが可能。

カメラで再生時、4K動画の1フレームを約880万画素（4096×2160）の静止画として切り出し、JPEGで保存可能。スチル素材として有効に活用できるほか、4Kモニタリング環境がない撮影現場でも、切り出した画像を拡大してカメラ本体でフォーカスをチェックできます。

意図した画調をカメラ単体で生み出せる、画作り機能。

動画に対しても、充実したピクチャースタイルを適用できます。さらにオートライティングオブティマイザや周辺光量補正、色収差補正などの画像処理機能も有効。撮影後、すぐに活用できる高画質な映像を得られます。＊Canon Logには対応していません。

映像／音声素材のHDMI出力に対応。

映像制作用として、情報表示のないフルHDをYCbCr4:2:2（8bit）、非圧縮でHDMI出力できます。タイムコードと記録コマンドの入／切を設定可能です。また音声出力にも対応しており、音声モニタリングや外部機器への音声記録にも活用できます。

*4K動画はフルHD画質で出力されます。

絞り駆動音の低減処理が可能な、ステレオマイク／ライン入力。

音声メモ用のモノラルマイクを内蔵。さらに外部ステレオマイク端子（ライン入力対応）を装備。ヘッドフォン端子から音声をリアルタイムにモニタリングしながら、録音レベル調整が可能です。さらに、ウインドカット／アッテネーター機能も備えるほか、カードに記録する音声に対しては、絞り駆動音の低減処理も行えます。

リモート撮影／サイレント操作

スマートフォンと連携し、動画のリモート撮影が可能。

ワイヤレスファイルトランスミッターWFT-E8Bを装着することで、無線LANを介したリモート撮影が行えます。狭小空間にカメラを設置しての撮影や、空撮など、撮影者と離れた場所からの撮影にも有効です。

●スマートフォンと連携：「Camera Connect」

スマートフォン用アプリケーション「Camera Connect」をインストールしたスマートフォンやタブレットPCと接続。手元からフォーカス、動画撮影の開始／終了、MP4動画の転送などが可能です。

※App Store（iOS用）、Google Play（Android用）から無料でダウンロードできます。



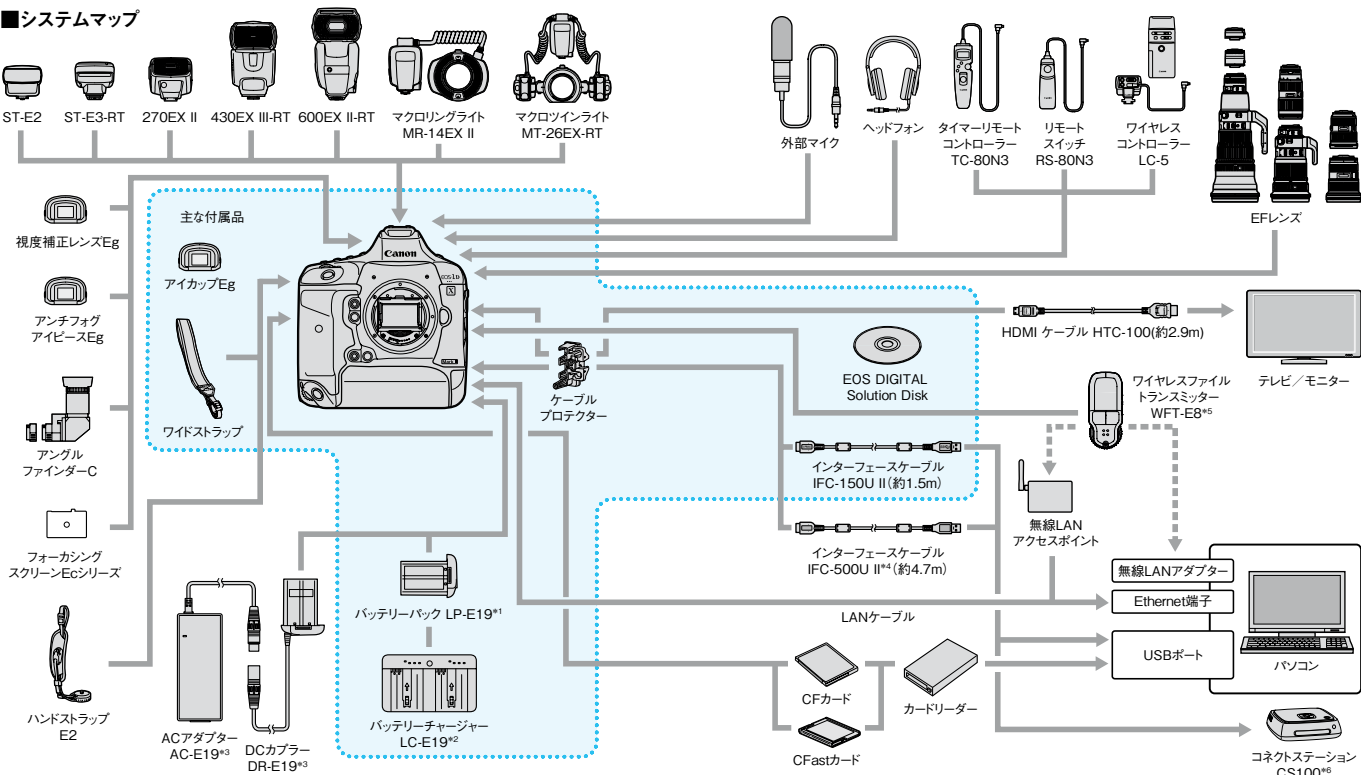
●ブラウザーと連携：WFTサーバー

静止画のリモート撮影で実績あるWFTサーバー機能も動画に対応。ノートPCなどのブラウザーから設定変更やフォーカスを調整するなど、きめ細かくカメラをコントロールできます。

撮影中にほぼ無音で設定変更できる、動画サイレント設定。

サブ電子ダイヤルの内側に静電容量式のタッチセンサーを装備。クイック設定画面を表示し、シャッター速度や絞り数値、ISO感度、露出補正、録音レベル、さらにヘッドフォン音量も音や振動を抑えて調整できます。

創造力を拡張するシステムアクセサリー



*1:バッテリーチャージャー LC-E19以外では充電できません。電源にバッテリーパックLP-E4N/E4を使用することもできます。*2:バッテリーパック LP-E4N/LP-E4を充電することもできます。*3:ACアダプターキット ACK-E4を使用することもできます。
*4:IFC-500U II使用時は、通信速度がHi-Speed USB (USB2.0) 相当になります。*5:ワイヤレスファイルトランスミッター WFT-E6を使用することもできます。WFT-E6を使用するときは、キヤノンのホームページから最新版のWFT-E6使用説明書 (PDFファイル) をダウンロードしてご覧ください。*6:コネクタステーションのファームウェアは、最新版をお使いください。

■主なアクセサリリスト

商品名	型番	商品コード	JANコード	希望小売価格(税別)	商品名	型番	商品コード	JANコード	希望小売価格(税別)
EOS-1D X Mark II	EOS-1DXMK2	0931C001	4549292-060485	オープン価格	ストラップ	—	—	—	—
スピードライト/マクロライト	—	—	—	—	◎ワイドストラップ L7	—	5753B001	4960999-840048	¥2,000
スピードライト 600EX II-RT	SP600EX2-RT	1177C001	4549292-059434	¥72,000	ハンドストラップ E2	—	4991B001	4960999-686202	¥3,800
スピードライト 430EX III-RT	SP430EX3-RT	0585C001	4549292-038255	¥36,000	フォーカシングスクリーン	—	—	—	—
スピードライト 270EX II	SP270EX2	5247B001	4960999-783239	¥17,000	◎フォーカシングスクリーン Ec-C 6	—	1168C001	4549292-060539	¥4,900
マクロリングライト MR-14EX II	MR-14EX2	9389B001	4549292-007732	¥80,000	フォーカシングスクリーン Ec-A	—	4720A001	4960999-519975	¥2,600
マクローズンライト MT-26EX-RT	MT-26EX-RT	2398C001	4549292-102888	¥129,800	フォーカシングスクリーン Ec-B	—	4721A001	4960999-519982	¥2,600
スピードライトトランスミッター ST-E3-RT	ST-E3-RT	5743B001	4960999-810225	¥28,000	フォーカシングスクリーン Ec-L	—	4726A001	4960999-520032	¥2,600
スピードライトトランスミッター ST-E2	ST-E2	2478A001	4960999-581538	¥22,000	◎バッテリーパック LP-E19	LP-E19	1169C001	4549292-060553	¥20,000
オフカメラシューコード OC-E3	OC-E3	1950B001	4960999-417271	¥7,000	バッテリーパック LP-E4N	LP-E4N	5751B001	4960999-819884	¥17,000
スピードライト/マクロライト用外部電源他	—	—	—	—	◎バッテリーチャージャー LC-E19	LC-E19	1170C001	4549292-060584	¥43,000
コンパクトバッテリーパック CP-E4	CP-E4	1947B001	4960999-417240	¥20,000	バッテリーチャージャー LC-E4N	LC-E4N	5752B001	4960999-819914	¥37,000
スピードライトブラケット SB-E2 *	SB-E2	1949B001	4960999-417264	¥23,500	DCカブラー DR-E19	DR-E19	1172C001	4549292-066050	¥20,000
リモートコントローラー	—	—	—	—	ACアダプター AC-E19	AC-E19	1171C001	4549292-068412	¥43,000
リモートスイッチ RS-80N3	RS-80N3	2476A001	4960999-581576	¥5,500	ACアダプターキット ACK-E4	ACK-E4	1896B001	4960999-415857	¥13,000
タイマーリモートコントローラー TC-80N3	TC-80N3	2477A001	4960999-581569	¥16,000	◎インターフェースケーブル IFC-150U II	—	9131B001	4549292-002027	¥2,500
エクステンションコード ET-1000N3	—	2440A001	4960999-581583	¥9,800	インターフェースケーブル IFC-500U II	—	9132B001	4549292-002041	¥3,500
ワイヤレスコントローラー LC-5セット	—	0295B001	4960999-290102	¥41,000	トランスミッター	—	—	—	—
ファインダー	—	—	—	—	ワイヤレスファイルトランスミッター WFT-E8B	WFT-E8B	1173C002	4549292-060638	¥60,000
◎アイカップ Eg	—	1889B001	4960999-415932	¥1,500	ワイヤレスファイルトランスミッター WFT-E6B	WFT-E6B	5756B002	4960999-810720	¥60,000
視度補正レンズ Eg -4	—	2199B001	4960999-455860	¥2,800	指向性ステレオマイク DM-E1	DM-E1	1429C001	4549292-065732	¥39,000
視度補正レンズ Eg -3	—	2198B001	4960999-455853	¥2,800	◎はEOS-1D X Mark IIに付属の商品です。	—	—	—	—
視度補正レンズ Eg -2	—	2197B001	4960999-455846	¥2,800	※スピードライト600EX-RT/580EX II/580EX/430EX IIのみ使用可能価格は、メーカー希望小売価格です。	—	—	—	—
視度補正レンズ Eg ±0	—	2196B001	4960999-455839	¥2,800	消費税は含まれておりませんので、ご購入の際、消費税額をお支払ください。	—	—	—	—
視度補正レンズ Eg +1	—	2195B001	4960999-455822	¥2,800					
視度補正レンズ Eg +2	—	2194B001	4960999-455815	¥2,800					
視度補正レンズ Eg +3	—	2192B001	4960999-455808	¥2,800					
アンチフォグアイピース Eg	—	2200B001	4960999-455877	¥4,500					
アングルファインダーC	ANGLE-C	2882A001	4960999-540092	¥24,000					



■付属品

- 1 EOS-1D X Mark II本体
 - 2 バッテリーパック LP-E19
 - 3 バッテリーチャージャー LC-E19
 - 4 ケーブルプロテクター
 - 5 インターフェースケーブル IFC-150U II
 - 6 ワイドストラップ L7
 - 7 EOS DIGITAL Solution Disk
- ※カメラ使用説明書・有線LAN使用説明書 (冊子/CD-ROM)も同梱されています。

■付属ソフトウェア

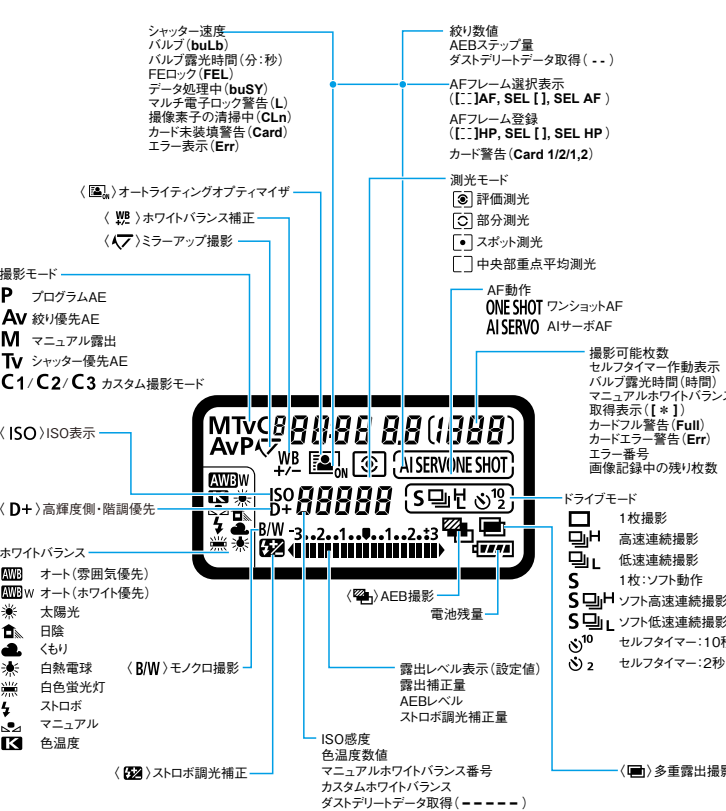
- カメラ用通信ソフト「EOS Utility/Map Utility (Ver.31.2収録)」(Windows/Macintosh)
 - RAW閲覧/編集ソフト「Digital Photo Professional」(Windows/Macintosh)
 - ピクチャースタイルファイル作成ソフト「Picture Style Editor」(Windows/Macintosh)
- ※PC動作環境は、キヤノンホームページをご覧ください。

■各部名称



- 1 シャッターボタン
- 2 メイン電子ダイヤル
- 3 マルチファンクションボタン
- 4 EFレンズ取り付け指標
- 5 マイク
- 6 ストラップ取り付け部
- 7 拡張システム端子
- 8 Ethernet用RJ-45端子
- 9 外部マイク入力/ライン入力端子
- 10 HDMIミニ出力端子
- 11 ヘッドフォン端子
- 12 デジタル端子
- 13 シンクロ端子
- 14 電池着脱つまみ
- 15 電池
- 16 縦位置絞り込みボタン
- 17 縦位置マルチファンクション2ボタン
- 18 縦位置メイン電子ダイヤル
- 19 縦位置シャッターボタン
- 20 レンズロック解除ボタン
- 21 セルフタイマーランプ
- 22 絞り込みボタン
- 23 マルチファンクション2ボタン
- 24 スロボ調光補正
- 25 測光モード選択ボタン
- 26 ドライブモード/AF動作/AF方式選択ボタン
- 27 撮影モード選択ボタン
- 28 AEB設定ボタン
- 29 表示パネル照明ボタン
- 30 ホワイバランス選択ボタン
- 31 測距エリア選択/マルチファンクション/FEロック/マルチスポット測光ボタン
- 32 シャッターボタン
- 33 メイン電子ダイヤル
- 34 露出補正/絞り数値設定ボタン
- 35 ISO感度設定ボタン
- 36 ストラップ取り付け部
- 37 設定ボタン
- 38 上面表示パネル
- 39 アクセサリーシュー
- 40 シンクロ接点
- 41 メニューボタン
- 42 インフォボタン
- 43 ファインダー接眼部
- 44 アイピースシャッターレバー
- 45 ライブビュー撮影/動画撮影ボタン
- 46 スタート/ストップボタン
- 47 AFスタートボタン
- 48 AEロックボタン
- 49 AFフレーム選択ボタン
- 50 マルチコントローラー
- 51 クイック設定ボタン
- 52 カードスロットカバー
- 53 設定ボタン
- 54 上面表示パネル
- 55 サブ電子ダイヤル
- 56 縦位置マルチコントローラー
- 57 アクセスランプ
- 58 縦位置AFスタートボタン
- 59 縦位置測距エリア選択/マルチファンクション/FEロック/マルチスポット測光ボタン
- 60 縦位置AEロックボタン
- 61 縦位置AFフレーム選択ボタン
- 62 スピーカー
- 63 カードスロットカバー開放つまみ
- 64 電源/マルチ電子ロックスイッチ
- 65 AFフレーム選択ボタン
- 66 ブロテクト/音声メモボタン
- 67 背面表示パネル
- 68 消去ボタン
- 69 インデックス/拡大/縮小ボタン
- 70 カード/画像サイズ選択ボタン
- 71 再生ボタン
- 72 ネットワークランプ
- 73 液晶モニター

■表示パネル



■背面表示パネル

